

日立物流グループの価値創造ストーリー

日立物流グループは、グループのあり方と進むべき道を示したHB Wayに基づき、これまで培ってきた強みを活かしながら、日々の業務改善活動であるVC活動に取り組んでいます。経営理念を体現するべく、その実現に向けた重要課題であるマテリアリティを特定し、具体的な戦略である中期経営計画「LOGISTEED2024」を独自のビジネスモデルによって推進しながら、経営環境の変化に柔軟に対応しています。

経営理念

日立物流グループは、広く未来をみつめ、人と自然を大切に、良質なサービスを通じて豊かな社会づくりに貢献します。

中期経営計画 (LOGISTEED2024)

マテリアリティ (重要課題)

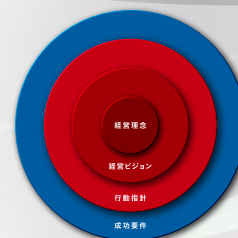
ビジネス モデル

オペレーション 遂行力 強み グローバル ネットワーク
先進的なロジスティクス エンジニアリング力
→ P23-24 価値創造プロセス
→ P25-26 日立物流グループの強み

マテリアリティの具体的な実行策として、新中期経営計画「LOGISTEED2024」に取り組んでいきます。 → P29-38

経営理念を体現するための重要課題として従来のESG視点のみならず、事業視点も考慮し特定したマテリアリティに取り組んでいきます。 → P41-44

HB WAY



成功要件
「現場力」×「見える化」
3つの追求
安全・品質・生産性
3つのこだわり
細部・顕在化・スピードにこだわる
3つの信条
顧客志向・チームワーク・チャレンジ精神

VC活動
HB Wayを実践する
日々の改善活動

リスクと機会

- 脱炭素化
- デジタル技術革新
- 少子高齢化労働力不足
- サプライチェーン最適化・高度化需要の増加
- 危険物・コールドチェーン等の需要増
- 重量事業ニーズの変化
- 製造と物流の境界領域ニーズ
- 世界情勢の不安
- BCP

中期経営計画の実現に向け、価値創造プロセスを通じて、グループのあり方と進むべき道を示したHB Wayに基づき、これまで培ってきた強みを活かしながら、日々の業務改善活動であるVC活動に取り組んでいます。